

あきる野市



町内会・自治会
連合会 会報

発行者／小山 正弘
編集／あきる野市
町内会・自治会連合会
広報部会

町自連



正一位岩走神社例大祭

阿伎留神社例大祭

二宮神社秋季例大祭

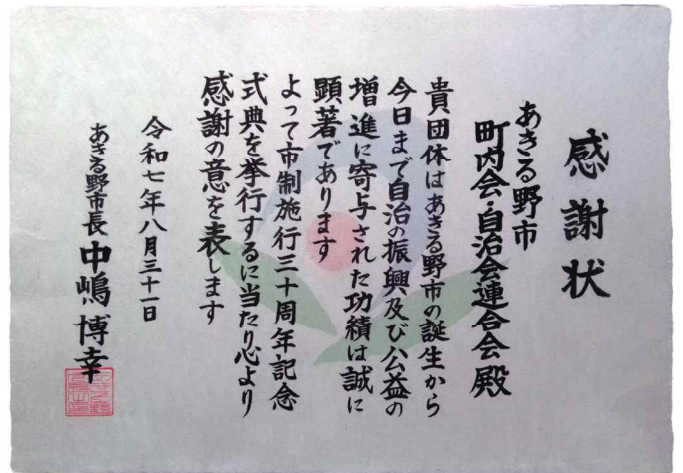
62

令和7年冬季号

第62号

多様な仲間と手を取って 進め町自連!

感謝状をいただきました。



感謝状

あきる野市
町内会自治会連合会 殿

貴団体はあきる野市の誕生から
今日まで自治の振興及び公益の
増進に寄与された功績は誠に
顕著であります
よって市制施行三十周年記念
式典を挙行するに当たり心より
感謝の意を表します

令和七年八月三十一日

あきる野市長 中嶋博幸

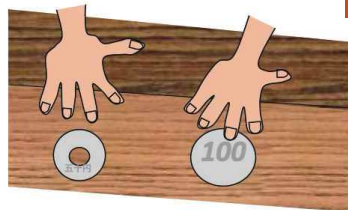


町自連会長 小山正弘

ところで、

話は変わりますが、私は地元のカレー店で働いていますが、ある日、やって来た小学四年生のA君とB君のふたり。一杯五十円の子供カレーを注文し、A君は五十円玉、B君は百円玉をカウンターに置きました。

「はい、おつり」、A君の出した五



十万円、その使い方は違うなあ。
お金には額面だけでなく、ちゃんとした意味がある、と考えないといけない。

このことは、様々な会計処理、裏金問題、マネーロンダリングなどにも影響しているなあと思います。そう思ってからはこのエピソードの話をしなくなりました。

汗水たらして稼いだ十万円と宝くじで当たった十万円、その使い方は違うなあ。お金には額面だけでなく、ちゃんとした意味がある、と考えないといけない。このことは、様々な会計処理、裏金問題、マネーロンダリングなどにも影響しているなあと思います。そう思ってからはこのエピソードの話をしなくなりました。

十円玉をB君に渡そうとすると、B君は「それは違う」と言います。「ここに百五十円あって、二人で百円だから、五十円がおつりでしょ」と、渡そうとすると、首を横に振りながら「それはA君の」と言って、後ずさりします。仕方がないので、レジから五十円玉を出して、B君に差し出すと、ニコニコして受け取りました。このエピソードを友人や大人のお客様さんに話すと「へー、子供の考え方って面白いね」とか「学校で習っていることと現実の違い、なんだね」とか言って、受けてました。でもある時、ふと思いました。私がやろうとしたことは、ただの算数。B君はお金の意味を考えている。汗水たらして稼いだ十万円と宝くじで当たった十万円、その使い方は違うなあ。お金には額面だけでなく、ちゃんとした意味がある、と考えないといけない。このことは、様々な会計処理、裏金問題、マネーロンダリングなどにも影響しているなあと思います。そう思ってからはこのエピソードの話をしなくなりました。

産業祭での活動

安心安全をタッグを組んでの、 3団体が力を合わせての活動

11月8日、9日に秋留台公園にて「産業祭」が実施されました。町自連では昨年同様にブースを設置し、加入促進の活動を行いました。

「防災・安心地域委員会」「防犯協会」と軒を連ね、「安心安全」のタッグを組んでの3団体が力を合わせた活動となりました。



安心安全3ブース



8日は沢山の来場者へ風船やグッズを資料とともに手渡ししながら広報活動を行った結果、3名の加入希望者がありました。しかし、9日の日曜日は小雨の中、来場者も半減した感じがありました。

原小宮町内会

感謝を込めて人形供養

原小宮蕃椒地蔵講 代表世話人 石毛 正典

長年私たちの暮らしに寄り添い心を和ませてくれたお雛様や五月人形、「いざ処分するとなると、ゴミとして捨てるのは忍びない」、「出来る限り感謝を込めて供養したい」、「しかし、どうすればよいのか方法がわからない」との声を聞き、私たち原小宮蕃椒(とうがらし)地蔵講は、人形への愛情を大切にしながら安心してお別れが出来るようにと、人形供養の活動を平成26年から始め、今年から回覧により多西地区全域にお声かけをし、10月11・12日に開催しました。

陽向寺のご住職の読経により、役目を終えて集められた人形たちを丁寧に供養し、お見送りをしました。そして、皆様からいただいた賽銭(供養料)の一部は、社会福祉協議会や日本赤十字社を通して災害被災地などへの支援金として、ご寄付をさせていただいております。

今後も皆様の人形に対する思いに寄り添いながら、私たちは社会貢献活動に努めて参りたいと思っております。



深沢自治会

山間部の困り事あれこれ

深沢自治会 会長 下野 吉夫

深沢自治会は深沢川(三内川)沿いに住宅が点在する36世帯の小さな自治会ですが、川に沿った谷合の集落のため入口から一番奥までは約2kmもあります。山間部のために「防災無線が入らないことがある」、「携帯電話が繋がらない場所が多い」、「熊や猪などの野生動物による農作物被害の発生や人身被害の危険」、「道路脇に立ち並ぶ立木と電線との干渉による停電の発生」、「林道での不法投棄」などの様々な困り事が発生しており、自治会としてもその対策に苦慮しております。

また、深沢地区は公共交通空白地帯で、移動は自家用車に頼っており、急速な高齢化に対応した対策が急務になっております。(※)

このような山間部の集落でも深沢を出るという人は少なく、また深沢への移住者も継続的にあり、現状空き家はゼロで、駅に比較的近く自然が豊かな深沢地区は魅力的な土地でもあるようです。深沢には「キャンプ場」「あじさい山」「深澤家屋敷跡」「小さな美術館」「大檜」「大杉」などがあり、特にあじさいの開花シーズンには多くの人が訪れる観光地でもあります。

自治会としても、市のご支援をいただきながら、様々な問題に対応していきたいと思っております。

※:あきる野市による公共交通対策事業として「タクシー利用助成」が本年4月から開始されています。